

平成 25 年度に広報専門官が行った職務

総合企画部 広報広聴課

1 広報体制の検証と戦略的な広報に必要となる対策

(1) 現状の問題点と具体的な改善案を市長・副市長に提言

- ア 職員の広報マインドの醸成
- イ 広報と広聴の有機的な連携
- ウ ICT の活用とスキルアップによる業務改善

2 情報発信などについての実践的な指導・助言

(1) 広報力向上研修を 4 回実施

- ア 一般職員対象 93 人参加（実施日：H25. 10. 23、10. 24、H26. 2. 3）
- イ 管理監督職員対象 34 人参加（実施日：H26. 2. 5）

(2) 各課からの広報相談に対応

- ア ガス水道局、国保医療課、文化振興課、地域活性化支援員など 19 件

(3) 広報広聴課の職員に対する指導・助言

- ア 職員研修を 6 回実施
- イ OJT（オン・ザ・ジョブトレーニング）による継続的な指導・助言

3 ホームページや SNS などの有効活用に必要な対策

(1) ホームページの改善

- ア 現在の CMS（ホームページの作成と管理をするシステム）の問題点を検証、改善点をまとめ企画政策課情報政策係に提言
- イ 次期 CMS の調達に向け、県内外の事業者から最新動向の情報を得るため、情報 C I O 補佐官と連携し、R F I（情報提供依頼書）の作成を支援

- ウ 次期CMSの調達に向け、情報C I O補佐官と連携し、「柏崎市CMS・ホームページ構築及び運用業務仕様書」等の作成を支援
- エ ホームページの改善（トップページに「休日・夜間の急患診療情報」へのリンクと「フェイスブック」「ツイッター」のバナーを表示、「広報専門官の活動」紹介ページを作成）

（2）ソーシャルメディアの活用

- ア 「柏崎市ソーシャルメディア・ポリシー」、「柏崎市ソーシャルメディア・コミュニケーション・ガイドライン」の作成を支援
- イ フェイスブック、ツイッターアカウントの開設・運営を支援
 - ① H25. 11. 18 登録、H25. 11. 20 投稿を開始
 - ② H26. 1. 27 フェイスブックでシェアや「いいね!」、ツイッターでフォローやリツイートを開始
 - ③ H26. 2. 18 広報広聴課で即答できる内容のコメントにはフェイスブック、ツイッターともに返事（双方向コミュニケーション）を開始
- ウ ソーシャルメディア研修を2回実施 40人が参加（実施日：H26. 1. 14・15）
- エ 市議会議員のソーシャルメディア活用研修を市議会からの要請で実施予定（H26. 3. 20）

4 パブリシティ活動の推進に必要な対策

- （1）パブリシティの実践（H25. 10. 6 ご当地グルメグランプリの取材及び報道発表）
- （2）市長定例記者会見発表項目の改善